



令和7年度

訓練生募集要項

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

国立吉備高原職業リハビリテーションセンター

《お問い合わせ先》

国立吉備高原職業リハビリテーションセンター

職業評価指導部職業評価課

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 7520

TEL 0866-56-9001 FAX 0866-56-7636

目 次

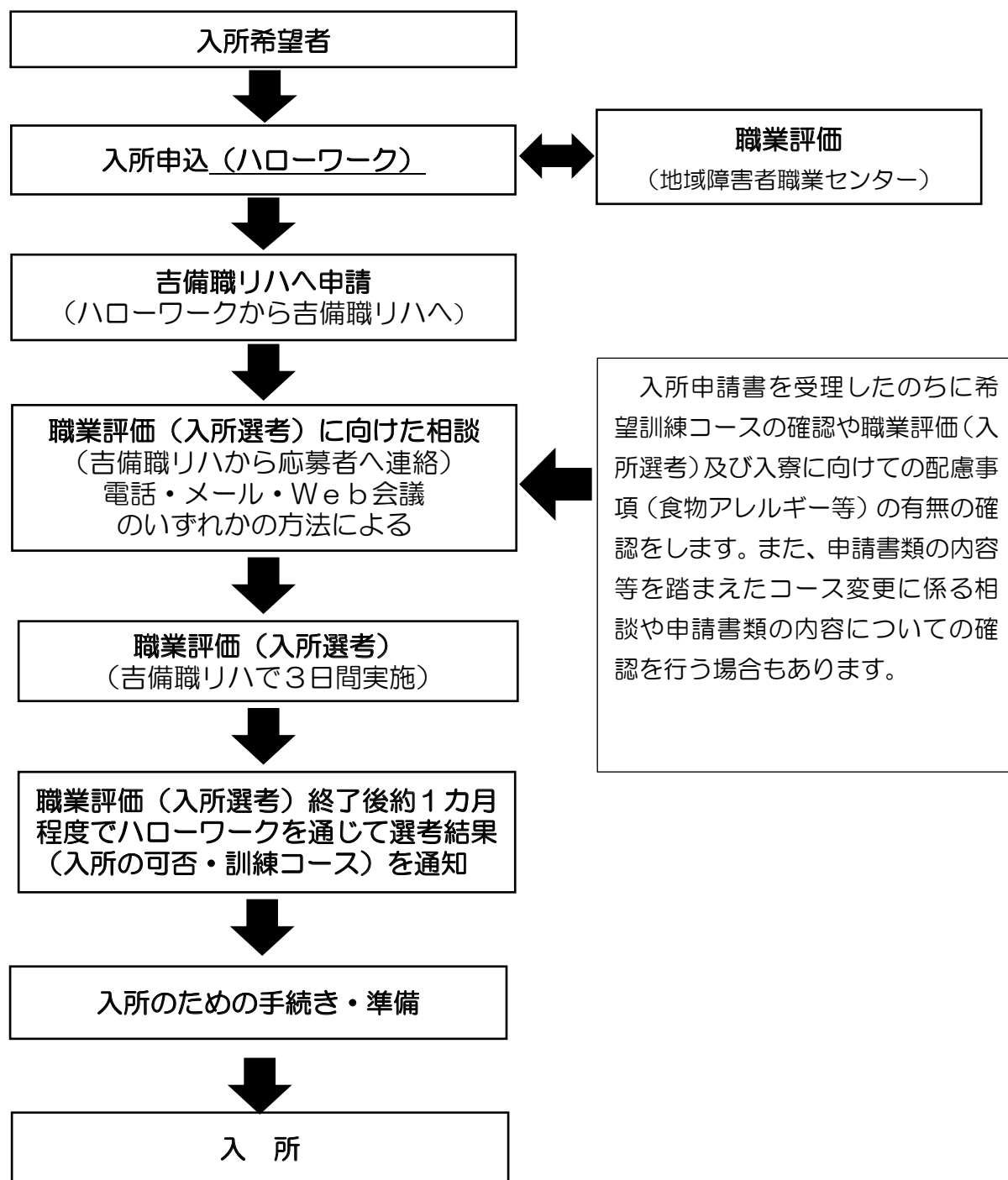
《Ⅰ. 令和7年度 長期間の訓練受講生 募集要項》	1
1. 申請から入所までの流れ	1
2. 募集対象者	2
3. 募集日程	3
4. 募集訓練コースと訓練内容	4
5. 申請手続き	5
6. 職業評価（入所選考）	7
7. 入校後の費用及び通所について	9
8. 職業評価（入所選考）の際の入寮体験について	10
9. 職業評価（入所選考）の際の通所体験について	11
《Ⅱ. 令和7年度短期間の訓練（レベルアップ訓練）受講生募集要項》	13
1. レベルアップ訓練の目的	13
2. 募集対象者	13
3. 募集訓練分野・募集定員・訓練期間	14
4. 募集期間（入所申請書受付期間）・入所日	14
5. 申請手続き	15
6. 入所選考の方法・選考結果の通知	16
7. 入校後の費用について	17
8. 通所バス・寮の利用	17

入所申請様式	様式 1 入所申請書
	様式 2 職業評価（入所選考）に係る確認書
	様式 3 ハローワーク相談票
	様式 4 社会生活状況確認票
	様式 5 学校生活状況確認票
	様式 6 医療情報提供書（精神障害等）
	様式 7 医療情報提供書（高次脳機能障害）

≪ I. 令和7年度 長期間の訓練受講生 募集要項 ≫

1. 申請から入所までの流れ

令和7年度の入所申請の流れ図



2. 募集対象者

(1) すべての方に共通の要件

- ① 就職意欲があり、職業訓練を受講することに熱意を有する方。
- ② 職業訓練を受講することにより、職業的自立が可能であると認められる方。
- ③ 週5日、1日6時間から8時間の職業訓練をコース修了までの期間（1年間または2年間）、安定して継続受講できる方。
- ④ 日常生活動作などの身辺自立が確立している方（自身で介護の契約ができる方を含む）。
- ⑤ 高等学校を卒業した方、若しくは、高等学校を卒業した方と同等以上の学力を有すると認められる方。

(2) 障害別に必要とする要件

① 身体障害・難病のある方

身体障害者手帳を所持している方、身体障害程度等級7級の判定を受けている方、又は、身体の障害が障害者の雇用の促進等に関する法律第2条第2号の規定に該当しない膠原病等の難病、低身長症等の疾患のある方（手帳申請中の方も応募できます）。

② 知的障害のある方

療育手帳を所持している方、又は判定機関から知的障害であると判定を受けている方（手帳申請中の方も応募できます）。

③ 精神障害のある方

精神障害者保健福祉手帳を所持している方、又は医師から統合失調症、そううつ、そう、うつ、てんかんの診断を受けている方（手帳申請中の方も応募できます）。

④ 発達障害のある方

発達障害であることが専門医等の医師の診断書で確認できる方、又は発達障害者支援法の施行(平成17年4月1日)以前に、児童相談所等の公的機関や当該機関の紹介する医療機関で、発達障害があると認められるとの指摘を受けたことがある方。

⑤ 高次脳機能障害のある方

脳外傷、脳血管障害等により生じた高次脳機能障害（記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害や失語症）のあることが、医師の診断書等で確認できる方。

3. 募集日程

応募回	吉備職リハへの 応募締め切り日	吉備職リハでの職業評価（入所選考） （3日間）	入所日
第1回	4月11日（金）	5月13日（火）～5月15日（木）	6月12日（木）
第2回	4月25日（金）	6月3日（火）～6月5日（木）	7月3日（木）
第3回	6月19日（木）	7月22日（火）～7月24日（木）	9月4日（木）
第4回	8月1日（金）	8月26日（火）～8月28日（木）	10月2日（木）
第5回	8月28日（木）	9月24日（水）～9月26日（金）	11月6日（木）
第6回	10月30日（木）	11月26日（水）～11月28日（金）	令和8年 1月8日（木）
第7回	11月25日（火）	12月16日（火）～12月18日（木）	令和8年 2月5日（木）
第8回	令和8年 2月5日（木）	令和8年 2月25日（水）～2月27日（金）	令和8年 4月7日（火）

募集日程についての留意点

- 吉備職リハの応募締め切り日は、ハローワークが吉備職リハへ申請書を送付する際の締め切り日ですので、ハローワークには早めに相談してください。
- 令和8年4月入所希望の新規高等学校卒業予定の方は第5回から第8回までの応募回で応募することができます。
- システム設計・管理コースの募集は第1回（令和7年6月入所）と第8回（令和8年4月入所）のみです。
- 各訓練コースの入所状況等により、応募された入所日から入所時期が変更となる場合があります。

4. 募集訓練コースと訓練内容

訓練系	訓練科	訓練コース	訓練期間	定員	訓練内容
メカトロ系	機械製図科	機械 CAD コース	1 年間	5 人	機械加工における基礎的な知識・技能を身につけたうえで、機械の部品図・組立図の 2 次元 CAD による設計・製図、3 次元 CAD によるモデリングなどに関する知識・技能を習得します。
	電子機器科	電気・電子技術・CAD コース		15 人	電気・電子機器の取扱いにおける基礎的な知識・技能を身につけたうえで、CAD を利用した回路パターン設計、電子回路の組立・検査、電子制御のプログラム開発などに関する知識・技能を習得します。
		組立・検査コース			製造業における電子機器、精密機器の製造ラインの作業工程に関する基礎的な知識・技能を身につけた上で、電子機器組立・配線・検査、機械組立・検査に関する専門的な知識・技能を習得します。
		製造ワークコース			製造工程における資材調達から組立、検査、製品の保管、出荷などの一連の作業や工場内事務作業についての技能と関連する知識を習得します。
ビジネス情報系	システム設計科	システム設計・管理コース	2 年間	10 人	サーバークライアントパソコン、携帯情報端末等で構成される情報処理システムのハードウェア、ソフトウェア、情報セキュリティネットワーク等に関する基礎的な知識・情報を身につけたうえで、コンピューターネットワークシステムの設計・開発やシステムの導入・運用・Web・広告デザインに関する幅広い知識・技能を習得します。
		IT ビジネスコース (視覚障害者対象)			視覚障害者用アクセス機器（拡大読書器・点字ディスプレイ）及びアクセスソフト（画面読み上げソフト・画面拡大ソフト等）を活用し、パソコンによるビジネスソフトの利用を中心とした事務処理、情報処理システムに蓄積されたデータベース処理等に関する必要な知識・技能を習得します。
	経理事務科	会計ビジネスコース	1 年間	5 人	一般的な事務及び OA 機器の操作における基礎的な知識・技能を身につけたうえで、簿記、税務、財務、販売管理、給与計算等の知識を習得するとともに、ワープロ、表計算等のアプリケーションソフト及び財務会計、給与計算等のビジネスソフトを利用した各種資料の作成等に関する知識・技能を習得します。
	OA 事務科	OA ビジネスコース		15 人	一般的な事務及び OA 機器の操作における基礎的な知識・技能を身につけたうえで、ワープロ・表計算等のアプリケーションソフトを利用した各種資料の作成や簿記、給与計算等に関する知識・技能を習得します。
		オフィスワークコース			文書の整理やファイリング、郵便物の仕分けや発送準備、職場環境整備、パソコンの基本的な操作方法、データ入力等の事務作業についての技能と関連する知識を習得します。
アシスタント系	販売・物流ワークコース		1 年間	20 人	小売店での食品加工、商品のパックや袋詰め、陳列、接客等、物流センターでのピッキングや検品、運搬等に関する知識・技能を習得します。
	サービスワークコース				飲食店等における食材加工や食器洗浄等の厨房業務、ホテル等におけるリネン業務、ビルメンテナンス業における清掃等の環境整備、サービス業全般における接客応対に関する知識・技能を習得します。

※ IT ビジネスコースは視覚障害者を対象としています。その他の訓練コースは障害種別を問わず対象としています。

※訓練コースの内容については、パンフレット（令和 7 年度 訓練生募集のごあんない）等を参考にしてください。また、訓練コースの選択にあたって、ご質問がある場合は吉備職リハ職業評価課（電話 0866-56-9001）にお問い合わせください。

5. 申請手続き

(1) ハローワークへの申請書類の提出

入所を希望する方は、居住地を管轄するハローワーク（※新規高等学校卒業予定の方（特別支援学校高等部を含む）は学校の所在地を管轄するハローワーク）に申請書類を提出してください。重複して障害のある方は、重複している障害に関しても必要な申請書類を確認し提出してください。

<申請書類一覧>

様式 番号	名称	該当者	記入者	備考	準備 状況
様式1	入所申請書	全員	申請者	様式1、様式2について、自身で記入が困難な方は代筆でも構いません。	<input type="checkbox"/>
様式2	職業評価（入所選考）に係る確認書	全員	申請者		<input type="checkbox"/>
様式3	ハローワーク相談票	全員	ハローワーク担当者	ハローワーク担当者が記入しますので、未記入のままハローワークへ提出してください。	<input type="checkbox"/>
様式4	社会生活状況確認票	医療・福祉・就労などの支援機関を利用している方	支援機関の担当者	利用しているすべての支援機関の担当者に作成を依頼し提出してください。現在支援機関を利用していない方は提出の必要はありません。	<input type="checkbox"/>
様式5	学校生活状況確認票	新規高等学校卒業予定の方	担任または進路指導担当教諭	現在在籍している学校の担任、または進路指導担当教諭に作成を依頼し提出してください。	<input type="checkbox"/>
様式6	医療情報提供書（精神障害等）	統合失調症、そううつ、うつ、てんかん、その他の精神疾患及び発達障害により通院している方	医療機関の主治医	現在通院している医療機関の主治医に作成を依頼し提出してください。	<input type="checkbox"/>
様式7	医療情報提供書（高次脳機能障害）	高次脳機能障害の診断を受けている方	医療機関の主治医	医療機関の主治医に作成を依頼し提出してください。	<input type="checkbox"/>
—	障害者手帳（写し）	障害者手帳を所持している方	—	身体障害者手帳、療育手帳または判定機関で知的障害であると判定した判定書、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方はその写し（コピー）を提出してください。	<input type="checkbox"/>
—	難病であることを確認できる書類（写し）	難病のある方		難病のある方は、難病であることを確認できる以下の書類などの写し（コピー）を提出してください。 ・特定医療費（指定難病）受給者証 ・障害者総合支援法に基づく受給者証 ・難病法に基づく都道府県知事が交付する医療受給者証 ・難病医療費助成の却下通知又は医師の診断書であって申請者の氏名及び難病性疾患の病名が確認できるもの	<input type="checkbox"/>
—	発達障害に関する書類（写し）	発達障害のある方（書類をお持ちの方のみ）		医療機関や発達障害者支援センターなどを利用した際の心理検査の結果や意見書等の書類があれば写し（コピー）を提出してください。	<input type="checkbox"/>

※各様式は当センターホームページからダウンロードすることができます（PCでの作成可）。

（２）地域障害者職業センターの職業評価

入所を希望する方は、地域障害者職業センターで職業評価を受けていただく必要があります。地域障害者職業センターへの職業評価の予約はハローワークから行います。

なお、地域障害者職業センターの職業評価は、予約から結果のとりまとめまで２か月程度の日数が必要になる場合があります。希望する応募回の締め切り日に間に合うようにハローワーク担当者と早めに相談してください。

（３）ハローワークの申請書類

ハローワークにおける職業相談の結果、職業訓練の受講が適当と認められた方については、入所を希望する方が提出した上記（１）の申請書類に加え、以下の書類を添えて吉備職リハに送付してください。

①ハローワーク相談票（様式３）

②地域障害者職業センターの評価結果等※^１（障害者台帳、障害者支援経過、厚生労働省編一般職業適性検査の結果記録票※^２、その他実施した検査結果等の写し）

※１ 過去に地域障害者職業センターの職業評価を受けたことがある応募者については、その際の障害者台帳・厚生労働省編一般職業適性検査（ＧＡＴＢ）の結果が活用できます。ただし、職業評価から１年以上経過している場合や厚生労働省編一般職業適性検査（ＧＡＴＢ）が未実施の場合は地域障害者職業センターで再度相談や評価を受けていただく必要があります。

※２ アシスタント系の訓練コース（販売・物流ワークコース及びサービスワークコース）のみを希望している応募者については厚生労働省編一般職業適性検査（ＧＡＴＢ）の紙筆検査の実施は必要ありません。

（４）入所申請の留意点

○訓練受講による技能習得の可能性を広く検討するために訓練コースは必ず第二希望まで記入してください。申請後の「職業評価（入所選考）に向けた相談」（P1 参照）を通して希望訓練コースの変更も可能です。

視覚障害のある方を対象とするＩＴビジネスコースは専願することができます。

○定期通院（リハビリや服薬治療）をしている方は、職業訓練を受講し就職活動を進めることの可否や留意事項について、あらかじめ主治医に確認してください。

○入所にあたり提出された書類は、原則として返却しませんので、ご了承ください。取得した個人情報は、個人情報の保護に関する法律及び当機構の定める個人情報の取扱いに関する規程、情報セキュリティポリシー等に基づき厳正な管理のうえ取り扱います。また、入所選考及び入所後に必要な支援の検討以外の目的には一切使用しません。

○入所を希望する方は、各訓練コースの特徴や、寮などの施設設備の確認をするために、入所申請前に吉備職リハ施設の見学をお勧めします。

(5) 申請書の受理・連絡

吉備職リハに申請書類が届いたのちに書類の不備がないか確認し、申請を受理し、受理したことをハローワーク及びご本人もしくはご家族に電話等で連絡します。

連絡の際に希望する訓練コースの確認や、吉備職リハで行う3日間の評価、入寮のあたりの配慮事項の有無等の確認を行います。

6. 職業評価（入所選考）

(1) 選考方法

入所に向けた職業評価（入所選考）は、申請書類、吉備職リハに来所して実施する3日間の作業評価、面接、評価期間中の態度や課題に取り組む姿勢、健康状況等を総合的に勘案したうえで選考します。

なお、作業評価実施後の面接において、希望する訓練コースの最終的な確認を行います（第一希望と第二希望の入れ替え可能）。

(2) 職業評価（入所選考）のスケジュール

第1回、第2回、第3回、第4回、第7回

入寮日（月）		職業評価（入所選考） 1日目（火）		職業評価（入所選考） 2日目（水）		職業評価（入所選考） 3日目（木）	
13:00 以降	※入寮希望者のみ 入寮	8:50	受付	9:00	作業評価①	9:00	作業評価②
		9:15	オリエンテーション		1日目と同じ訓練コースで作業評価を実施		2日目午後と同じ訓練コースで作業評価を実施
		10:20	作業評価① 1つ目の希望訓練コースで作業評価を実施				
	入寮説明会	12:00	昼休憩	12:00	昼休憩	12:00	昼休憩
		13:10	作業評価① 午前と同じ訓練コースで作業評価を実施	13:10	作業評価② 2つ目の希望訓練コースで作業評価を実施	13:10	作業評価② 午前と同じ訓練コースで作業評価を実施
		14:50	面接等	14:50	面接等	14:50	面接等
16:00		16:40	面接等終了	16:30	面接等終了	16:30	面接等終了

第5回、第6回、第8回

入寮日（火）		職業評価（入所選考） 1日目（水）		職業評価（入所選考） 2日目（木）		職業評価（入所選考） 3日目（金）	
13:00 以降	※入寮希望者のみ 入寮	8:50	受付	9:00	作業評価① 1日目と同じ訓練コースで作業評価を実施	9:00	作業評価② 2日目午後と同じ訓練コースで作業評価を実施
		9:15	オリエンテーション				
		10:20	作業評価① 1つ目の希望訓練コースで作業評価を実施				
	入寮説明会	12:00	昼休憩	12:00	昼休憩	12:00	昼休憩
		13:10	作業評価① 午前と同じ訓練コースで作業評価を実施	13:10	作業評価② 2つ目の希望訓練コースで作業評価を実施	13:10	面接等
16:00		14:50	面接等				
		16:40	面接修了	16:30	作業評価終了	16:30	面接修了

【オリエンテーション】

来所評価のスケジュールや評価期間中の注意事項等を確認します。

【作業評価】

申請した希望訓練コースにおいて作業課題に取り組み、訓練受講に必要な能力や適性を評価します。

【面接】

志望動機や、現在までの生活状況、職歴、現在の健康状態など、入校後に安定した訓練受講が見込めるかを確認します。また、作業評価の振り返りを行い、最終的な第1希望・第2希望の訓練コースを確認します。

（3） 職業評価（入所選考）時の持ち物・服装

＜持ち物＞

- ・筆記用具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）
- ・バッグやポーチ（吉備職リハ内で筆記用具や貴重品などを入れて持ち歩くためのバッグなどを持参してください）

＜服装＞

- ・私服もしくは学校の制服
- ※スーツ等の着用は不要です

(4) 結果の通知

職業評価（入所選考）終了後概ね 1 か月程度でハローワークを通じて選考結果を通知します。

(5) その他

○職業評価（入所選考）の1日目は、吉備職リハ管理棟正面玄関で午前8時50分から受付を開始します。

○「職業評価（入所選考）」期間中に食堂で食事をされる場合は、職業評価1日目のオリエンテーション時に、現金で食費を徴収しますので釣り銭のいない様に準備をお願いします（お支払いは現金のみ）。

○通所バスの利用者はバスの運行時間に合わせて評価時間を設定します。

7. 入校後の費用及び通所について

(1) 訓練の受講料等

○職業訓練の受講料は無料です。

○作業服、テキスト、教材費は実費負担です（訓練コースによって金額は異なります）。

○訓練生は傷害保険に加入できます（保険料は1年間 8,500 円＋振込手数料）。また、入寮の方は、寮内での事故に備えた傷害保険に加入できます（保険料は1年間 16,000 円～）。

(2) 通所バス・寮の利用

○訓練期間中、JR 岡山駅から当センターまで通所用の送迎バス（無料）を運行しています。

○入寮を希望される方で、一定の要件（遠隔地等で通所が困難である、日常生活動作などの身辺自立が確立している、周囲に迷惑をかけない等集団生活が可能）を満たす方は当センターの寮が利用できます。

- ・寮費として、月額 4,500 円を月々徴収します。

- ・食費は、朝食 315 円、昼食 472 円、夕食 472 円です（令和 7 年 3 月末現在）。

8. 職業評価（入所選考）の際の入寮体験について

入所時に寮の利用を希望される方は、職業評価（入所選考）において、必ず寮を利用してください。

※寮での生活状況についても、確認させていただきます。

（１）寮の入寮日について

寮を利用する方は、13時以降に入寮してください。入寮日のスケジュールは以下のとおりです。

入寮日の16時から入寮説明会（入寮のためのオリエンテーション）を行いますので、必ず出席してください。

入寮日の予定	
入寮日	
午前	午前中に入寮することはできません。
13:00以降	入寮日の13:00から入寮や荷物の搬入が可能です。 入寮日が <u>平日</u> の場合は、管理棟正面受付へお越しください。 入寮日が <u>祝日</u> の場合は直接寮の正面玄関までお越しください。 入寮説明会まで自室等で待機していただきます。
16:00	入寮説明会

（２）寮利用時の持ち物及び留意事項について

○寮の利用にあたっては、本人の3日間分の洗顔や歯磨き（歯ブラシ・歯磨き粉等）・入浴道具（石鹸、シャンプー、タオル、ヘアドライヤー等）、着替え（日中の衣服、寝間着、下着等）、処方された薬（服薬が必要な方）を準備したうえで入寮してください。
なお、居室の布団は吉備職リハで準備します。また、寮の洗濯機が利用できますが、洗剤は各自で用意してください。

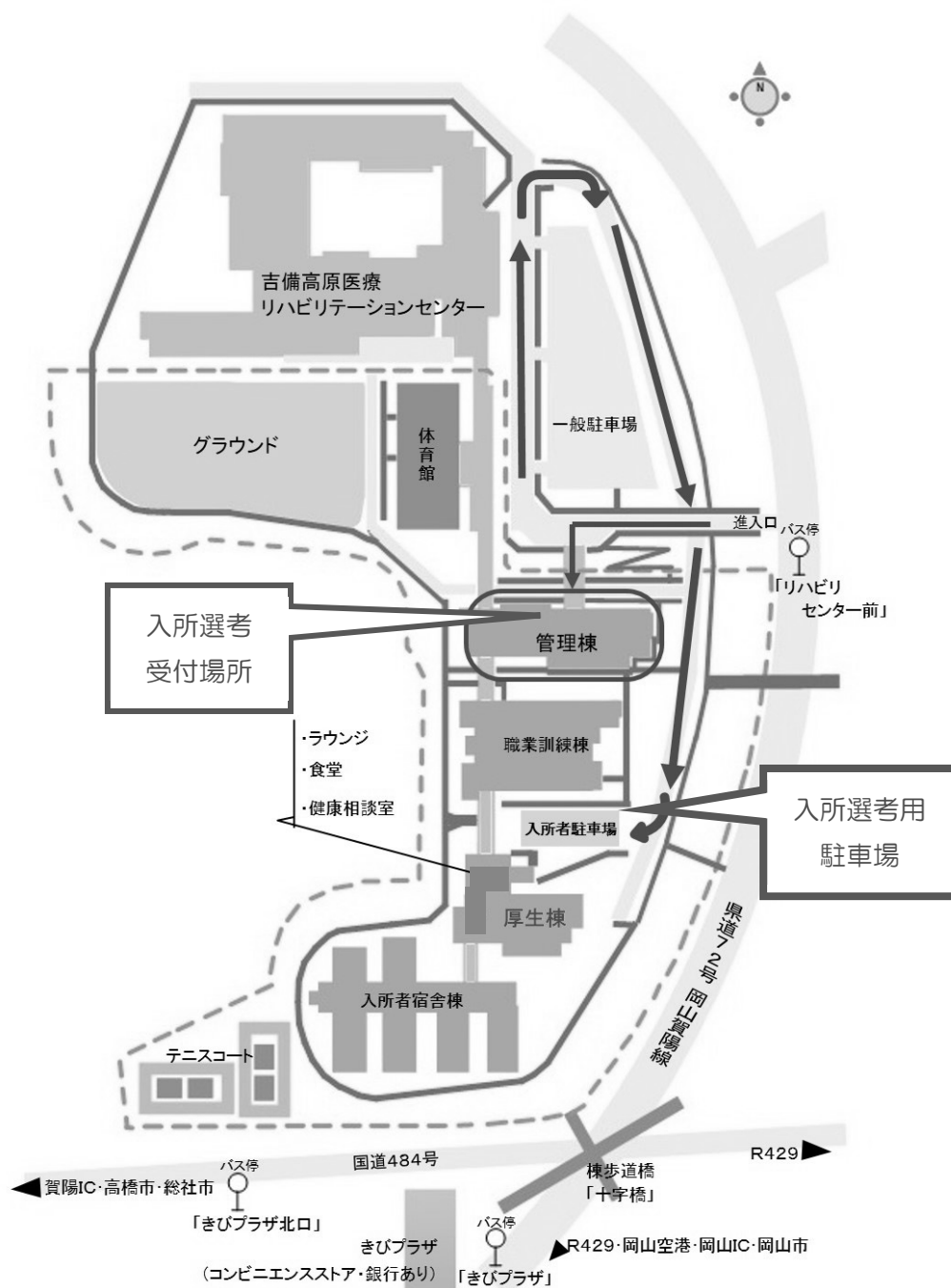
○寮は、応募者本人以外の宿泊はできませんので、同伴の方で宿泊される場合は各自で早めに宿泊場所の手配をお願いします。参考までに、吉備職リハの徒歩圏に、「吉備高原リゾートホテル」（TEL 0866-56-7170）があります。

9. 職業評価（入所選考）の際の通所体験について

（1）自動車や自転車等を利用する方

吉備職リハに入所した場合に、自動車や自転車等を利用して通所する予定の方は、今回の職業評価（入所選考）の3日間は、必ず自動車や自転車等を利用してください。なお、駐車場は以下の図で案内している入所選考用駐車場に駐車してください。

※自動車等を使用する際は交通法規と駐車ルールを遵守してください。



（２）通所バスを利用する方

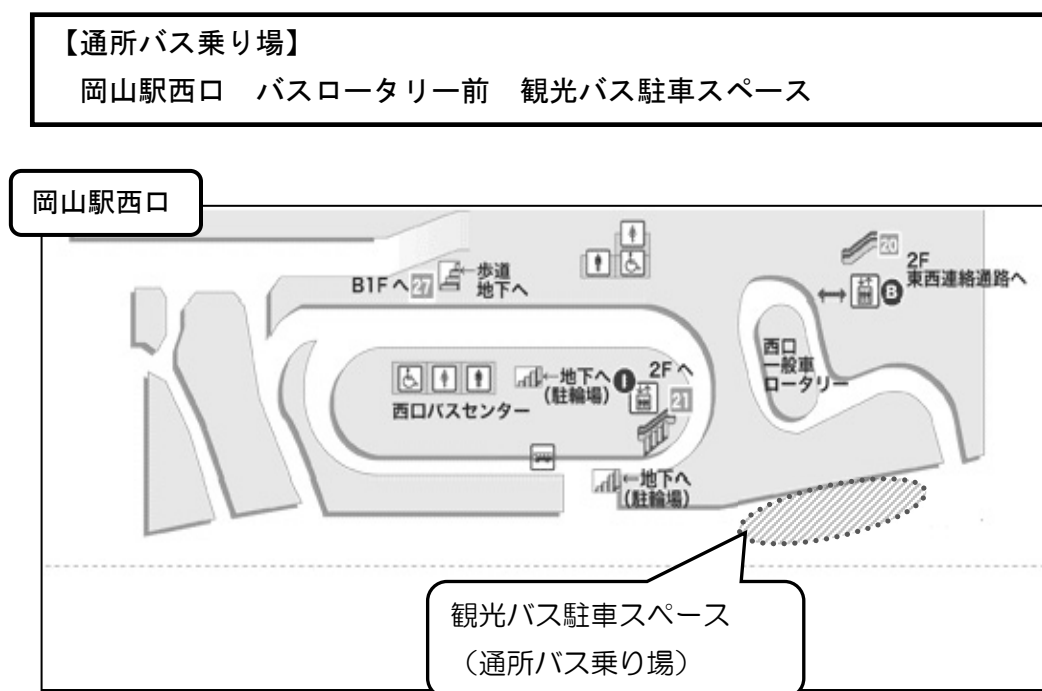
① 通所バスの利用について

吉備職リハに入所した場合に、通所バスを利用する予定の方は、職業評価（入所選考）の3日間も、必ず通所バスを利用してください。

※通所バスを利用する際は時間や車内マナーを遵守してください。

② 通所バス乗り場

通所バスの発着所は以下の図のとおりです。



行きの通所バスは、岡山駅西口より、**午前 7 時 30 分**に出発します。遅れないように必ず乗車してください。

行きの通所バス（岡山駅西口から、吉備職リハへ向かうバス）の乗り場に、運転手が吉備職リハのプラカードを持って立っていますので、それを目印に乗車してください。

帰りの通所バス（吉備職リハから岡山駅西口へ向かうバス）の出発時間は、月曜日と水曜日は午後 3 時 00 分、火曜日と木曜日は午後 5 時 00 分です。

上記の帰りの通所バス（吉備職リハから、岡山駅西口へ向かうバス）の乗り場は、管理棟の正面入り口前です。

《Ⅱ. 令和7年度短期間の訓練（レベルアップ訓練）受講生募集要項》

1. レベルアップ訓練の目的

ハローワークに求職登録している離転職者等であって、一定の実務経験、または知識や技能を身につけている方が、さらに必要な知識及び技能を追加・補完し、効果的かつ効率的に再就職を目指すための訓練です。

訓練分野	既得の経験・技能・知識と追加・補完の訓練（例）
機 械	・機械加工関連の実務経験、基本的な機械図面の読解力があり、新たにCADによる機械図面作成に関する技能・知識を習得
電 気・電 子	・電気関連の実務経験があり、CAD技術を習得 ・電子関連の実務経験、電子回路の基礎知識があり、電気・電子制御に関する技能・知識を習得 ・製造業関連の実務経験があり、さらに電子機器や機械部品の組立・検査の技能・知識を習得 ・製造業に関する実務経験や知識・技能があり、さらに組立技能や工場内事務補助技能に関する知識・技能を習得
情 報 処 理	・ソフトウェアの利用や管理の実務経験があり、簡単なプログラミングの技能・知識を習得 ・ネットワークを活用した実務経験があり、システムやネットワークの設計・運用・管理等に関する技能・知識を習得
事 務	・事務職として実務経験があり、視覚障害者アクセス機器（拡大読書器・点字ディスプレイ）やアクセスソフト（画面読み上げソフト・画面拡大ソフト等）を活用する技能・知識を習得 ・事務職としての実務経験、簿記の3級程度の技能・知識があり、財務会計、販売管理など経営管理のより高度な技能・知識を習得 ・事務職として実務経験があり、ワープロ、表計算について3級程度の技能・知識があり、オフィス向けソフトによる各種資料の作成やグループウェア、インターネットを利用したより高度な技能・知識を習得

※一人ひとりの実務経験を踏まえた訓練カリキュラムを個別に設定します

2. 募集対象者

（1）すべての方に共通の要件

- ① 希望する訓練コースに関して一定の実務経験又は技能・知識を有する方であって既得の技能・知識に追加・補完の訓練を受講することにより、再就職が可能であると認められる方。
- ② 就職意欲があり、職業訓練を受講することに熱意を有する方。
- ③ 週5日、1日6時間から8時間の職業訓練を、コース修了までの期間、安定して継続受講できる方。
- ④ 日常生活動作などの身辺自立が確立している方（自身で介護の契約ができる方を含む）。
- ⑤ 高等学校を卒業した方、または、高等学校を卒業した方と同等以上の学力を有すると認められる方

（2）障害別に必要とする要件

① 身体障害・難病のある方

身体障害者手帳を所持している方、身体障害程度等級7級の判定を受けている方、又は、身体の障害が障害者の雇用の促進等に関する法律第2条第2号の規定に該当しない

膠原病等の難病、低身長症等の疾患のある方（手帳申請中の方も応募できます）。

② 知的障害のある方

療育手帳を所持している方、又は判定機関から知的障害であると判定を受けている方（手帳申請中の方も応募できます）。

③ 精神障害のある方

精神障害者保健福祉手帳を所持している方、又は医師から統合失調症、そううつ病、うつ病、てんかんの診断を受けている方（手帳申請中の方も応募できます）。

④ 発達障害のある方

発達障害であることが専門医等の医師の診断書で確認できる方。又は発達障害者支援法の施行(平成 17 年 4 月 1 日)以前に、児童相談所等の公的機関や当該機関の紹介する医療機関で、発達障害があると認められるとの指摘を受けたことがある方。

⑤ 高次脳機能障害のある方

脳外傷、脳血管障害等により生じた高次脳機能障害（記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害や失語症）のあることが、医師の診断書等で確認できる方。

3. 募集訓練分野・募集定員・訓練期間

（1）募集訓練分野：機械、電気・電子、情報処理、事務

（2）募集定員：長期間の訓練の定員の範囲内

（3）訓練期間：原則6か月

4. 募集期間（入所申請書受付期間）・入所日

（1）募集期間：随時応募可能です。

（2）入所日：個別に調整して決定します。

5. 申請手続き

(1) ハローワークへの申請書類の提出

入所を希望する方は、居住地を管轄するハローワークに申請書類を提出してください。重複して障害のある方は、重複している障害に関しても必要な申請書類を確認し提出してください。

<申請書類一覧>

様式番号	名称	該当者	記入者	備考	準備状況
様式1	入所申請書	全員	申請者	様式1、様式2について、自身で記入が困難な方は代筆でも構いません。	<input type="checkbox"/>
様式3	ハローワーク相談票	全員	ハローワーク担当者	ハローワーク担当者が記入しますので、未記入のままハローワークへ提出してください。	<input type="checkbox"/>
様式4	社会生活状況確認票	医療・福祉・就労などの支援機関を利用している方	支援機関の担当者	利用しているすべての支援機関の担当者に作成を依頼し提出してください。現在支援機関を利用していない方は提出の必要はありません。	<input type="checkbox"/>
様式6	医療情報提供書（精神障害等）	統合失調症、そううつ、うつ、てんかん、その他の精神疾患及び発達障害により治療を受けている方	医療機関の主治医	現在通院している医療機関の主治医に作成を依頼し提出してください。	<input type="checkbox"/>
様式7	医療情報提供書（高次脳機能障害）	高次脳機能障害の診断を受けている方	医療機関の主治医	医療機関の主治医に作成を依頼し提出してください。	<input type="checkbox"/>
—	障害者手帳（写し）	障害者手帳を所持している方	—	身体障害者手帳、療育手帳または判定機関で知的障害であると判定した判定書、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方はその写し（コピー）を提出してください。	<input type="checkbox"/>
—	難病であることを確認できる書類（写し）	難病のある方		難病のある方は、難病であることを確認できる以下の書類などの写し（コピー）を提出してください。 ・特定医療費（指定難病）受給者証 ・障害者総合支援法に基づく受給者証 ・難病法に基づく都道府県知事が交付する医療受給者証 ・難病医療費助成の告知又は医師の診断書であって申請者の氏名及び難治性疾患の病名が確認できるもの	<input type="checkbox"/>
—	発達障害に関する書類（写し）	発達障害のある方（書類をお持ちの方のみ）		医療機関や発達障害者支援センターなどを利用した際の心理検査の結果や意見書等の書類があれば写し（コピー）を提出してください。	<input type="checkbox"/>

※各様式は当センターホームページからダウンロードすることができます（PCでの作成可）。

（２）地域障害者職業センターの職業評価

入所を希望する方は、地域障害者職業センターで職業評価を受けていただく必要があります。地域障害者職業センターへの職業評価の予約はハローワークから行います。

なお、地域障害者職業センターの職業評価は、予約から結果のとりまとめまで２か月程度の日数が必要となる場合があります。希望する時期に合うようにハローワーク担当者と早めに相談してください。

（３）ハローワークの申請書類

ハローワークにおける職業相談の結果、職業訓練の受講が適当と認められた方については、入所を希望する方が提出した上記（１）の申請書類に加え、以下の書類を添えて吉備職リハに送付してください。

①ハローワーク相談票（様式３）

②地域障害者職業センターの評価結果等※^３（障害者台帳、障害者支援経過、厚生労働省編一般職業適性検査の結果記録票、その他実施した検査結果等の写し）

※３ 過去に地域障害者職業センターの職業評価を受けたことがある応募者については、その際の障害者台帳・厚生労働省編一般職業適性検査（ＧＡＴＢ）の結果が活用できます。ただし、職業評価から１年以上経過している場合や厚生労働省編一般職業適性検査（ＧＡＴＢ）が未実施の場合は地域障害者職業センターで再度相談や評価を実施いただく必要があります。

（４）入所申請の留意点

○定期通院（リハビリや投薬治療）をしている方は、就職活動や職業訓練を受講し就職活動を進めることの可否や留意事項について、あらかじめ主治医に確認してください。

○入所にあたり提出された書類は、原則として返却しませんので、ご了承ください。取得した個人情報は、個人情報の保護に関する法律及び当機構の定める個人情報の取扱いに関する規程、情報セキュリティポリシー等に基づき厳正な管理のうえ取り扱います。また、入所選考及び入所後に必要な支援の検討以外の目的には一切使用しません。

○入所を希望する方は、訓練環境や寮などの施設設備の確認をするために、入所申請前に吉備職リハ施設の見学をお勧めします。

６．入所選考の方法・選考結果の通知

原則として応募書類（上記５「申請手続き」の書類）で選考を行います。応募書類だけで入所の適否の決定が困難な場合は、来所又は出張による面接や検査などを行います。

なお、選考結果の通知はハローワークを通じて入所日の約３週間前に通知します。

7. 入校後の費用について

- 職業訓練の受講料は無料です。
- 作業服、テキスト、教材費は実費負担です（訓練コースによって金額は異なります）。
- 訓練生は保険に加入できます（保険料は6か月間4,900円＋振込手数料～）。また、入寮の方は、寮内での事故に備えた傷害保険に加入できます（保険料は6か月間8,000円～）。

8. 通所バス・寮の利用

- 訓練期間中、JR岡山駅から当センターまで通所用の送迎バス（無料）を運行しています。
- 入寮を希望する方で、一定の要件（遠隔地等で通所が困難である、日常生活動作などの身辺自立が確立している、周囲に迷惑をかけない等集団生活が可能である）を満たす方は当センターの寮が利用できます。
 - ・寮費として、月額 4,500 円を月々徴収します。
 - ・食費は、朝食 315 円、昼食 472 円、夕食 472 円です（令和 7 年 3 月末現在）。

入 所 申 請 書

国立吉備高原職業リハビリテーションセンター所長 殿

このたび貴センターに入所したいので別紙関係書類を添えて申請します。

(本申請書は、本人が直接の記入することが困難な場合は代筆も可能です。)

写真
(3か月以内に撮影)
正面・脱帽
縦4cm×横3cm程度

※自分で撮影した
写真も可
※電子データの
貼り付けも可

フリガナ		性別
氏 名		男 ・ 女
生年月日	昭和 平成	年 月 日 (歳)

住所	〒		
連絡先	TEL		FAX
	メール	@	

※連絡先は、当センターが連絡をする時に、必ず連絡のつく連絡先や連絡方法(TEL・FAX・メール)を記入してください。

1. 希望する訓練	必ず希望する訓練コースを第一希望・第二希望まで記入してください。※ITビジネスコースのみ専願できます。							
	長期間の訓練	第一希望		第二希望				
	短期間の訓練 (レベルアップ訓練)	希望分野	長期間の訓練と短期間の訓練(レベルアップ訓練)は併願できません。					
2. 入所を希望する理由								
※短期間の訓練(レベルアップ訓練)を希望する場合は、希望訓練分野に関連する経験やスキルも記入してください。								
4. 希望する通所方法 (いずれかに○)	a. 寮を利用 b. 通所バス(岡山駅発)を利用 c. 自家用車を利用 d. その他(例:自転車・徒歩)	※寮の利用を希望する場合は、理由を記入してください。	理由					
5. 希望する応募回 (いずれかに○)	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
6. 障害名・病名								
※ 障害名等が複数ある場合は、すべて記入してください。								
7. 服薬	有・無	種 類 () 種 類 () 種 類 ()	回数 () 回数 () 回数 ()	回 / 日 回 / 日 回 / 日				
8. 障害者手帳など								
<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 (等級) ・ 申請中 <input type="checkbox"/> 療育手帳 (等級) ・ 申請中 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 (等級) ・ 申請中 <input type="checkbox"/> 障害名がわかる書類 ()								
※ 右の該当する□に✓と、手帳を取得している場合は等級も記載ください。申請中の場合は、○で囲んでください。 ※ 障害名がわかる書類 ※ 上記手帳や書類については、写しも併せて提出してください。								
※ 障害名がわかる書類 公的機関から受けた知的障害の判定書、発達障害であることが分かる専門医の診断書、「様式6 医療情報提供書(精神障害等)」 「様式7 医療情報提供書(高次脳機能障害)」等が該当します。								

※ 学歴、職業訓練受講歴を記入してください。

学歴等	在学期間	校 名	学部学科	いずれかに○
	年 月 ～ 年 月			卒業・中退・卒業見込
	年 月 ～ 年 月			卒業・中退・卒業見込
	年 月 ～ 年 月			卒業・中退・卒業見込
	年 月 ～ 年 月			卒業・中退・卒業見込

※直近のものから順次記入してください。

職歴	期間	会社・事業所名	仕事内容(具体的に)	離職理由
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			

※ 医療機関での治療やリハビリ、経過観察の履歴を最近のものから順次記入してください(利用中のものを含む)。

治療歴	期間	病院名	診療科	該当に○
	年 月 ～ 年 月			入院 ・ 通院
	年 月 ～ 年 月			入院 ・ 通院
	年 月 ～ 年 月			入院 ・ 通院
	年 月 ～ 年 月			入院 ・ 通院

※ 通所や相談等を目的として支援機関・施設を利用した履歴を、最近のものから順次記入してください(利用中のものを含む)

施設等 利用歴	期間	施設名	活動内容(例 就業面・生活面の相談・週5日●●作業等)
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		

職業評価(入所選考)や入所後(寮等)の生活において、障害や疾病などから配慮を求めたいことがあれば以下に記載してください。(例:てんかん発作、体温調節、アレルギー等)

※必ずしもご要望に応えられない場合もあることを事前にご了承ください。

--

上記は ☐ 自筆です ☐ 代筆です (いずれかを○でかこむ)

※ 記入の際に、枠が足りない場合はこの用紙を複写してご使用いただくか、任意の様式でご提出ください。

(様式2)

【職業評価（入所選考）に係る確認書】

職業評価（入所選考）を受けられる皆様方へご確認しております。

電話・携帯・FAX・メールなどの連絡先は、確実に応募者に連絡ができる連絡先を1つ以上記入してください。

応募者氏名	(フリガナ)				電話・携帯																																											
					FAX																																											
					メール																																											
入寮希望される方 ＜該当する選択肢を○で囲んでください＞	①	入寮予定時刻	月 日 () 曜日 時頃																																													
	②	来寮時の交通手段	1 路線バス ((1) 岡山駅方面から (2) 高梁駅方面から)																																													
			2 自家用車 ((1) ご本人の車 (2) ご家族等の車)																																													
			3 その他 ()																																													
	③	来寮時の同行者	有 ・ 無 【有の場合】氏名： (続柄：)																																													
④	帰宅時の交通手段	1 路線バス ((1) 岡山駅方面へ (2) 高梁駅方面へ)																																														
		2 自家用車 ((1) ご本人の車 (2) ご家族等の車)																																														
		3 その他 ()																																														
⑤	帰宅時の同行者	有 ・ 無 【有の場合】氏名： (続柄：)																																														
通所希望される方 ＜該当する選択肢を○で囲んでください＞	①	職業評価期間の 来所方法	1. 当センターの通所バス（入所したら通所バスでの通所を希望している）																																													
			2. ご本人の自家用車（入所したら自家用車での通所を希望している）																																													
			3. その他 ()																																													
②	職業評価初日の同行者	有 ・ 無 【有の場合】氏名： (続柄：)																																														
③	職業評価終了日の同行者	有 ・ 無 【有の場合】氏名： (続柄：)																																														
当センター 食堂の利用 ※寮を利用せずに通所する方は、昼食の欄のみに○・×をご記入ください。	<table><tr><th colspan="9">職業評価</th><th rowspan="2">注文合計金額</th></tr><tr><th>前日</th><th colspan="3">1日目</th><th colspan="3">2日目</th><th colspan="2">3日目</th></tr><tr><th>夕食</th><th>朝食</th><th>昼食</th><th>夕食</th><th>朝食</th><th>昼食</th><th>夕食</th><th>朝食</th><th>昼食</th><th rowspan="2">¥</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										職業評価									注文合計金額	前日	1日目			2日目			3日目		夕食	朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	¥									
	職業評価									注文合計金額																																						
	前日	1日目			2日目			3日目																																								
	夕食	朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	夕食	朝食	昼食	¥																																						
❖食事代金 朝食 315 円 昼食 472 円 夕食 472 円																																																
1. 食事が必要な場合、枠内に ○ 印を、不要な場合には × 印を記入してください。																																																
2. 受付時に現金にて食費をお支払いいただきますので釣り銭のいらないう様に準備をお願いします。																																																
3. 本確認書を提出した後に食事に変更が生じた場合は、職業評価の前の週の水曜日までに電話で職業評価課にご連絡下さい。期限を過ぎての変更は、料金が発生する場合がありますのでご注意ください。																																																
そ の 他	<連絡や質問等がございましたらご記入ください>																																															

ハローワーク相談票

フリガナ		生年月日	昭和 平成	年 (月 日 歳)
氏名				
○希望する訓練コースに係る就職希望地の労働市場の状況 【本人の希望する職種の管内及び通勤範囲内での労働市場について】				
1. 第一希望について 2. 第二希望について				
○本人が職業訓練を希望するに至った相談の経緯、直近の就職活動状況、就職に対する意欲や姿勢等、職業相談、指導の経過についてご記入ください。				
○公共職業安定所の総合所見 【職業訓練受講の必要性、訓練終了時での就職あっ旋の見通し等について記入してください】				
相談内容は上記のとおりです。 令和 年 月 日				
担当部署 職名 担当者氏名		公共職業安定所長 TEL - - 部門コード		

社会生活状況確認票

現在支援されている機関の担当の方が、できる限り詳しく記入してください。

※現在利用中の支援機関が2か所以上ある場合は、この用紙をコピーして担当の方にお渡しください。

機関名：

応募者氏名		記入年月日	
記入者氏名		所属及び職名	
所属機関住所 及び電話番号	〒 — TEL — —		
機関利用目的	例：就労を目指して作業をするため通所利用・生活リズムを整えるためにデイケアを利用・就労を目指して相談のために来所など、利用目的をご記入ください。		
機関利用開始日 と利用状況の推移について	例：〇月〇日から利用を開始して、現在まで継続利用している。〇月〇日から〇月〇日は週1回の利用だったが、〇月〇日からは週5回の利用をしている。		
直近1年間の利用状況・出席状況	例：利用状況について月1回の定期的な相談日に予定通りに相談に来所している。出席状況について週5回の通所をほぼ休まずに通所している。週5回の通所のうち2～3回は、朝寝坊により遅刻している。		
直近1年間の活動内容	例：〇〇の作業に集中して取り組んでおり、正確な作業が継続できている。〇〇についての相談をしており、アドバイスを取り入れて〇〇に取り組んでいる等。		

(1)直近1年間の生活状況	生活の状況(睡眠、食事、服薬、生活リズムなど自宅の生活状況について具体的に記入ください。また、生活支援を受けている場合は、その内容を記入ください。)
(2)本人の障害状況	本人の障害状況を記入してください。入浴・排せつなどの日常動作や移動などの身体的な障害状況や不安、感情のコントロール、うつ状態、感覚過敏などの精神的な障害状況についてご記入ください。また、体調が崩れる前に起こるサイン、就職するうえで必要な配慮などを記入してください。
(3)効果的な支援方法	本人を支援するにあたっての効果的な支援方法や支援環境について詳しく記入してください。
(4)家庭のサポート体制	本人の就職に向けた家族の協力やサポートの体制について記入してください。

※記入にあたってのお問い合わせは、国立吉備高原職業リハビリテーションセンター職業評価課(0866-56-9001)まで
 お願いします。

国立吉備高原職業リハビリテーションセンター

学校生活状況確認票

担任または進路担当の先生が、できる限り詳しく記入してください。

学校名

応募者氏名		記入年月日	
記入者氏名		所属及び職名	
所属機関住所 及び電話番号	〒 — TEL — —		

<出席状況>

	出席日数	欠席日数	遅刻日数	早退日数
1年生	日	日	日	日
2年生	日	日	日	日
3年生	日	日	日	日

「特記事項」※上記について欠席・早退・遅刻が繰り返されている場合、その理由について記載してください。

<現在の状況について>

(1)就職に向けた意欲・意識の状況

(2)吉備職リハに応募した経緯・目的

(3)最近の実習活動状況 ※実習の企業、実習した施設施設、実習の評価など、詳しい状況もご記入ください。

実習事業所名	作業内容	実習期間	実習時間	実習の評価
		年 月 日	時 分	
		～	～	
		年 月 日	時 分	
		出勤状況		
		年 月 日	時 分	
		～	～	
		年 月 日	時 分	
		出勤状況		
		年 月 日	時 分	
		～	～	
		年 月 日	時 分	
		出勤状況		

(4)実習に取り組んでいない場合 ※実習をしていない場合は、その理由を記入してください。

(5)直近1年間の生活状況	生活の状況(睡眠、食事、服薬、生活リズムなど自宅の生活状況について具体的に記入ください。また、生活支援を受けている場合は、その内容を記入ください。)
(6)本人の障害状況	本人の障害状況を記入してください。入浴・排せつなどの日常動作や移動などの身体的な障害状況や不安、感情のコントロール、うつ状態、感覚過敏などの精神的な障害状況についてご記入ください。また、体調が崩れる前に起こるサイン、就職するうえで必要な配慮などを記入してください。
(7)効果的な支援方法	本人を支援するにあたっての効果的な支援方法や支援環境について詳しく記入してください。
(8)家庭のサポート体制	本人の就職に向けた家族の協力やサポートの体制について記入してください。

※記入にあたってのお問い合わせは、国立吉備高原職業リハビリテーションセンター職業評価課(0866-56-9001)までお願いします。

(様式 6)

※ 国立吉備高原職業リハビリテーションセンターの訓練概要等につきましては裏面をご参照ください。

医療情報提供書(精神障害等)

フリガナ		生年月日	昭和 平成	年	月	日 (歳)
氏 名						

1

初診日（把握している場合、発症時期）
・初診日 昭和・平成・令和（ ）年（ ）月（ ）日
・発症時期 昭和・平成・令和（ ）年（ ）月

2

疾病名

3

疾病の状況
(1) 現在の症状（具体的症状と程度）

(2) 症状の安定度（安定の程度、安定してきた時期など）

(3) 調子を崩すときの前兆、要因

4

現在の医療の状況
(1) 治療内容

(2) 通院
() 週間に () 回

(3) 服薬

5

職業訓練の受講や集団での生活について（いずれかに、○印をつけて下さい。）

(1) 1日6時間～8時間程度の訓練受講が可能 はい ・ いいえ
(2) 1年間程度（コースにより2年間も有）の訓練受講が可能 はい ・ いいえ
(3) 集団の中での訓練受講が可能 はい ・ いいえ
(4) 50人～70人の集団の中での寮生活が可能 はい ・ いいえ
(※入寮希望者の場合のみ回答)

6

訓練受講上の留意事項等

病院または診療所の名称
所在地

令和 年 月 日
診療担当科名
担当医氏名

国立吉備高原職業リハビリテーションセンターにおける職業訓練概要

1 訓練生定員 70 名

- ・年間 8 回の入所時期があり、メカトロ系、ビジネス情報系、アシスタント系の 11 の訓練コースを設定しています。
- ・各訓練コースの定員は 5 名～15 名となっており、コースごとにひとつのグループとして訓練しています。
- ・訓練生は自宅等から通所(通所バス、路線バス、自家用車等)する方、訓練生用の寮に入所する方がいます。

2 訓練期間など

- ① 訓練期間 長期間の訓練コース：2年間(システム設計・管理コース、ITビジネスコース)
長期間の訓練コース：1年間(上記2コース以外の訓練コース)
(実務経験の有無にかかわらず、専門的な知識や技能習得を希望している方が対象)
短期間の訓練コース：6か月間
(すでに実務経験があり、一定の知識や技能を身につけている方が対象)
- ② 訓練休 土曜、日曜、国民の祝日
夏期、冬期は各 3 週間程度、春期に 10 日間程度、ゴールデンウィークの期間
- ③ 訓練時間 年間の総訓練時間は長期間の訓練は 1,400 時限、短期間の訓練は 700 時限です。
(1 時限は 50 分)
・ 月・水・金曜日：6 時限 火・木曜日：8 時限、
1・2 時限 8:55 ～ 10:30 休憩 15 分間
3・4 時限 10:45 ～ 12:20 休憩 50 分間
5・6 時限 13:10 ～ 14:45 休憩 15 分間
7・8 時限 15:00 ～ 16:40

3 訓練の進め方

- ・障害特性、能力・適性などに合わせた個別カリキュラムを設定しています。
- ・訓練カリキュラムとして、グループワークなどの集団プログラムが設定されている場合があります。

4 訓練期間中の支援

以下の支援を職業訓練指導員と障害者職業カウンセラーが連携して実施しています。

- ・就職に必要な技能・知識などを習得するための職業訓練
- ・職業訓練やその後の職業生活に適応するための職業適応支援
(生活習慣、対人技能、ストレス・疲労対処、障害特性の整理などに関する講座・面談)
- ・就職活動の支援や必要な情報の提供などを行う職業指導

国立吉備高原職業リハビリテーションセンターにおける寮(訓練生用)の概要

1 寮の利用者数

年間を通して 50 名前後の訓練生が寮で集団生活をしています。

2 寮の環境

- ① 居 室 :寮は男女別棟で個室です(食堂・トイレ・洗濯室・浴室は共用)。
- ② 医療環境 :隣接して吉備高原医療リハビリテーションセンターがあり、診療科目は内科、整形外科、リハビリテーション科、歯科等です。精神科は 30 kmほど離れた近隣市の病院が最寄になります。

3. 寮の生活管理

寮監や相談員はいますが、基本的に日常生活はすべて自己管理できる必要があります。

(様式 7)

※ 国立吉備高原職業リハビリテーションセンターの訓練概要等につきましては裏面をご参照ください。

医療情報提供書（高次脳機能障害）

フリガナ		生年月日	昭和 平成	年	月	日 (歳)
氏 名	男 女					
1 発症及び受障年月日 昭和・平成・令和 () 年 () 月 () 日						
2 傷病名						
3 損傷部位						
4 リハビリテーションの経過 ※内容の分かるものがあれば添付して下さい。						
5 高次脳機能障害の種類・状況 (1) 種 類 記憶障害 ・ 遂行機能障害 ・ 注意障害 ・ 言語障害 ・ 社会的行動障害 その他の高次脳機能障害 () (2) 状 況 (3) 障害に対する本人、家族の理解、認識の状況						
6 てんかん発作について てんかんの既往がある場合は、発作の種類、頻度、要因、発作時の対応について記入してください						
7 現在の医療の状況 (1) 治療内容 (2) 通院 () 月に () 回 (3) 服薬						
8 訓練受講上の留意事項等（作業耐性、集団活動等）						

病院または診療所の名称
所在地

令和 年 月 日
診療担当科名
担当医氏名

国立吉備高原職業リハビリテーションセンターにおける職業訓練概要

1 訓練生定員 70 名

- ・年間 8 回の入所時期があり、メカロ系、ビジネス情報系、アシスタント系の 11 の訓練コースを設定しています。
- ・各訓練コースの定員は 5 名～15 名となっており、コースごとにひとつのグループとして訓練しています。
- ・訓練生は自宅等から通所(通所バス、路線バス、自家用車等)する方、訓練生用の寮に入所する方がいます。

2 訓練期間など

- ① 訓練期間
長期間の訓練コース:2年間(システム設計・管理コース、ITビジネスコース)
長期間の訓練コース:1年間(上記2コース以外の訓練コース)
(実務経験の有無にかかわらず、専門的な知識や技能習得を希望している方が対象)
短期間の訓練コース:6か月間
(すでに実務経験があり、一定の知識や技能を身につけている方が対象)
- ② 訓練休
土曜、日曜、国民の祝日
夏期、冬期は各 3 週間程度、春期に 10 日間程度、ゴールデンウィークの期間
- ③ 訓練時間
年間の総訓練時間は長期間の訓練は 1,400 時限、短期間の訓練は 700 時限です。
(1 時限は 50 分)

・ 月・水・金曜日:6 時限 火・木曜日:8 時限、
1・2 時限 8:55 ～ 10:30 休憩 15 分間
3・4 時限 10:45 ～ 12:20 休憩 50 分間
5・6 時限 13:10 ～ 14:45 休憩 15 分間
7・8 時限 15:00 ～ 16:40

3 訓練の進め方

- ・障害特性、能力・適性などに合わせた個別カリキュラムを設定しています。
- ・訓練カリキュラムとして、グループワークなどの集団プログラムが設定されている場合があります。

4 訓練期間中の支援

以下の支援を職業訓練指導員と障害者職業カウンセラーが連携して実施しています。

- ・就職に必要な技能・知識などを習得するための職業訓練
- ・職業訓練やその後の職業生活に適応するための職業適応支援
(生活習慣、対人技能、ストレス・疲労対処、障害特性の整理などに関する講座・面談)
- ・就職活動の支援や必要な情報の提供などを行う職業指導

国立吉備高原職業リハビリテーションセンターにおける寮(訓練生用)の概要

1 寮の利用者数

年間を通して 50 名前後の訓練生が寮で集団生活をしています。

2 寮の環境

- ① 居 室 : 寮は男女別棟で個室です。(食堂・トイレ・洗濯室・浴室は共用)。
- ② 医療環境 : 隣接して吉備高原医療リハビリテーションセンターがあり、診療科目は内科、整形外科、リハビリテーション科、歯科等です。精神科は 30 kmほど離れた近隣市の病院が最寄になります。

3. 寮の生活管理

寮監や相談員はいますが、基本的に日常生活はすべて自己管理できることが必要です。